

## ドイツ、マンハイム市が自転車買い替え奨励金制度を実施

ドイツ南部バーデン＝ヴュルテンベルク州に位置するマンハイム市は州都シュトゥットガルトに次ぐ州内第2の都市であり、ドイツでは人口第20位約31万人を数えるライン川沿いの町である。この度、同市では地域経済活性化を目的として、自転車買い替え奨励金制度を5月2日より100台限定で試験的に実施することを同市ホームページ上で公表し、更にその後、開始初日の様子が同上で報じられたので、その概要を紹介する。

### 奨励金制度の流れ

まず、道路交通許可規則に基づく公道走行可能な新しい自転車をマンハイム市内の自転車小売専門店で購入する。但し、ロードレーサーやマウンテンバイクなどのスポーツ車及び子供車は奨励金の対象外である。また、スーパー、ディスカウンターなど量販店で購入した自転車も認められない。更に5月2日以前に購入されたものも不可である。

次に、マンハイム中央駅の自転車ステーション「BIOTOPIA」に古い自転車を持参し引き取ってもらう。その時に新車購入時の領収書とマンハイム在住を証明する身分証明書の提示が求められる。これらを確認後、奨励金50ユーロがその場で支給される。これらは事前予約無しに申請手続きが可能である。

なお、自動車の買い替え補助金と違い、回収された古い自転車は廃棄処分されない。それは修理され、環境保護のため社会的に利用価値があるものは再利用される予定である。

### 成功を収めた試験策

5月2日（土）は10時から18時までの間、自転車ステーションBIOTOPIAは特別にオープンし、この日に合計87台の自転車が同所に持ち込まれた。マンハイム市長はこの奨励金を申請者に自ら手渡し「地域経済活性化策として予想以上の効果であった。」と述べた。

BIOTOPIAに最初の自転車を持ち込んだ市民の男性は、「長い間、新しい自転車を購入したいと思っていたので今回の制度はまさに好都合だった。」と述べ、その男性は19年前に購入した自転車により市長から50ユーロを受け取った。更に「このキャンペーンはマンハイムの自転車利用者と市内自転車小売店の双方にとって良いものだと思う。」とも語った。同市長は今回の結果に大変満足し、この地域活性化策に自信を深めている。そして「奨励金は100台分まで保証されており、まだ奨励金は受け取り可能だ。」とも初日時点で説明していた。

この奨励金制度は、この町だけでなくドイツ全土に反響をもたらし、新聞、ラジオ及びTVがこのアイデアを報じた。また、他都市、レーゲンスブルクやフランクフルトなどが情報を求め、自転車買い替え奨励金制度について目下、調査中であるとされる。

この一都市の地域経済活性化の試みが、ドイツの他都市に何処まで波及するのか、今後もマンハイム市並びに他都市の動向に注目していきたい。

以上

(デュッセルドルフ事務所)

出所； マンハイム市ホームページ 4/24付及び5/4付ニュース